



TITLE:

ハイライト : 写真で見る環境保全

AUTHOR(S):

CITATION:

ハイライト : 写真で見る環境保全. 環境保全 2017, 31: 2-6

ISSUE DATE:

2017-03-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/219216>

RIGHT:

京大キャンパスで5年目のグリーンカーテンプロジェクト

📖 グリーンカーテンプロジェクトについては、エコ宣言WEBサイト(<http://eco.kyoto-u.ac.jp/>)内の「ゴーヤブログ」でも詳しくご覧頂けます。本ページの写真は、学内外の里親の皆様からご提供頂いたものです。

環境科学センターで種から育てたゴーヤを、希望者(里親)にお配りして、育てて頂こうという取組。学内落ち葉で作った堆肥もあわせて、ご活用頂いております。平成28年度は自宅も含め里親59カ所のうち15カ所から写真をいただきました。なお、5年連続植えておられる所が3カ所ありました。



附属病院/(4年連続) (部屋の中から)



人間環境学研究科/(5年連続)



農学研究科/(5年連続)



薬学研究科/(今年初めて)



工学研究科桂地区
(今年初めて)



フィールド科学教育センター
(今年初めて)



経済研究科/(自宅にて)



iCeMS/(自宅にて)



学際融合教育研究推進
センター/(自宅にて)



経営管理大学院
(自宅にて)



環境科学センター

落葉の堆肥化

キャンパス内の落葉を堆肥化して6年になるが、平成28年度は約3.8t(水分を含む)の堆肥を作成した。ゴーヤ苗の配布時は8割の方に腐葉土として持ち帰った外、学内外の希望者77人に配布した。



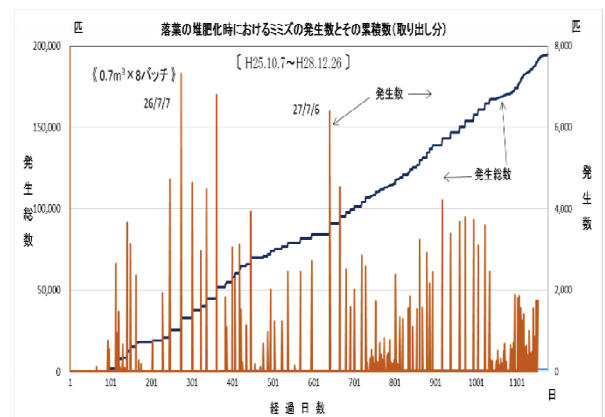
作成中
(上部の白い部分は米糠)



袋詰めした腐葉土

腐葉土内におけるミズの発生

落葉の仕込みケースは9バッチあり、これまでの3年間でミズが約193,000匹発生している。ミズの発生する堆肥は良好な有機堆肥であり、さらにミズが排出する糞は植物にとって望ましい肥料である。ミズを利用した生ごみ処理も試みられている。下のグラフはこれまで3年間に発生したミズの発生数と累積数図である。



ILASセミナー「ごみ問題と3R・循環型社会形成

新入生(1回生)を当センターゼミに招いてのILASセミナー。今年度は7名の新入生を迎え、廃棄物の発生抑制に関する概要を理解することを目的に「食品ロス」、「プラスチック類」、「電池・E-waste、ELV」のテーマ別に3班に分かれて英語論文を読み込みました。



京都市家庭ごみ細組成調査

毎年恒例の京都市家庭ごみ細組成調査に今年も参加(12月1日)。慣れない作業に普段は陽気な留学生も言葉少なく悪戦苦闘。



京都大学の環境・サステナビリティを考える100人会議

サステナブルキャンパスの取組の概念や具体的な取組について、多くの意見を得ると同時に、広く認知をはかり、実効性あるものを目指すことを目指して、幅広く関係する教職員や学生、その他の専門家やステークホルダー120人以上がメンバーとなり、議論を展開中！実際にスタートしたプロジェクトもあります。

※京都大学環境科学センターが、2015年度 京都大学 分野横断プラットフォーム構築企画(研究大学強化促進事業「百家争鳴」プログラム)の支援を受けて始めたものです。

第三回100人会議 @ 東福寺 2016年6月18日

あ〜だ
こ〜だ



東福寺さんに会場をお借りし、約60名強が参加。

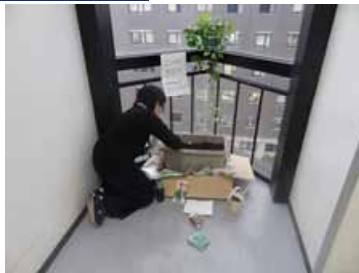
午前中、座禅をした後、お寺内を案内して頂き、午後からは、教職員・学生・専門家混成で、テーマ別にディスカッション！



初めてという人もいたが、身も心もスッキリ！

具体的な活動への展開の例

エディブルガーデンプロジェクト



エディブルガーデン(菜園)を学内に広げ、食と農についての学びと行動のきっかけを！と始動。まずは室内で育苗中。

エディブルフラワーを使ったスイーツも作ってみました！

これから本格展開です！



地域連携試行(福井県鯖江市)



地域の持続可能性を考えるための調査やWSを鯖江市の河和田地区にて実施。現地の伝統的な「行い」にも参加し、大興奮！



テーマを広げ、通年で活動しています！「エコ〜ると京大」2016

全員参加型で環境負荷を低減した、持続可能なキャンパスの実現を目指している京都大学。多くの方に参加してもらいイベントを「エコ〜ると京大」として展開しています。2016年度は主に次のような取組を行いました。

＊6月「初夏の陣」・・・環境意識・行動の底上げを目的に、イベントを展開

＊8月～9月・・・海洋資源・環境保全に関する国際シンポジウム・会議参加

＊12月15日・・・健康でサステナブルな食生活のためのペコロジー料理教室

＊12月21日・・・安倍昭恵さんによる特別講義「価値の創造」

＊京都大学総長ブルーシーフードカレーの開発

＊7月6日エコ着付け教室、8月8日舞鶴水産試験所等で環境学習、8月9・10日京都大学オープンキャンパス環境コーナー、10月29日京大ジュニアキャンパス(ゼミ提供)、11月21-22日思修館GSAISシンポジウム(ポスター発表)、11月26日京都市イベントにおけるエコリンピック実施など

2016年6月 エコ〜ると京大・初夏の陣



恒例のオープンラボ(ルネ)は、先生との直接対話やWSで好評

オープンラボにて、美味しいお茶を振舞うために、事前にプロからレクチャーを受け、マスター



あるもんdeスパイスのススメ・・・「あるもん」をフル活用して食のあり方を考える『あるもんdeプラス』と、『京大カレー部』『でこべじカフェ』がコラボして、創作料理のWSを開催



熊本の震災支援のフリマやフードライブ(食品の寄付;右写真)も実施



豪華スピーカー(上左:セイラズフォーザシー日本支局の井植美奈子さん、上右:FAOのMbuli Charles Bolikoさん)を迎えてのペコロジーディナーショーは大盛況!

2016年夏・秋 海洋資源・環境に関する活動

8月8日

舞鶴水産試験所等での学習(総勢約40名にて: 子供・親子も参加)



8月22日

ハワイでの海洋環境保護に関するシンポにて発表(山口優輔君)



10月29日

京大ジュニアキャンパスにて「海の仲間が増えるマイバックを作ろう!」とのゼミを実施



9月15日・16日
ワシントンDCでの海洋資源に関する高級官僚会合に学生として参加(横山恵利香さん、山口凛君)



京都大学総長ブルーシーフードカレーの開発



2016年12月15日 健康でサステイナブルな食生活のためのペコロジー料理教室

※京都府「食育のたね交付金」を活用



2016年12月21日 安倍昭恵さんによる特別講義「価値の創造」

